

本庄東中学校区小学校統合準備委員会 専門部会

第 1 回 学校運営部会

# 1.学校運営部会の役割について

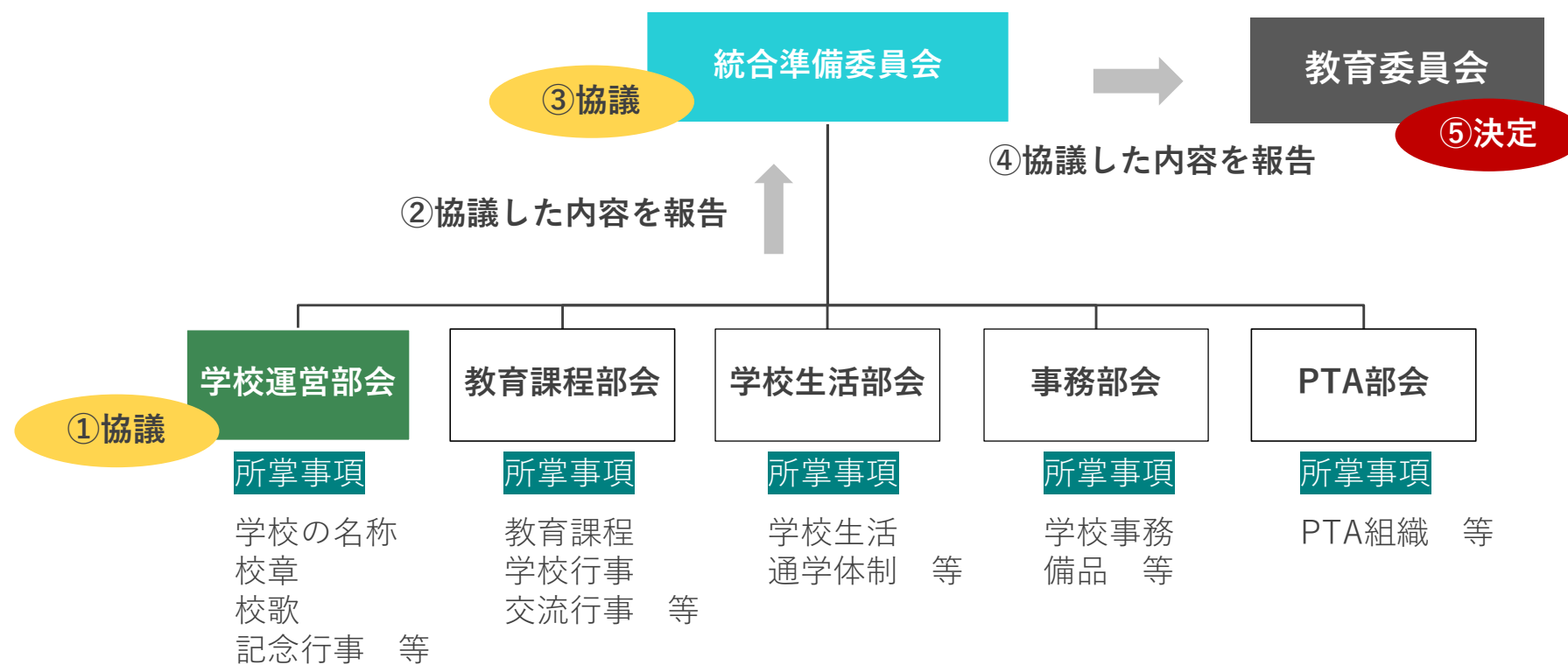
## 本庄東中学校区 3 小学校の統合

小学校	適正化内容	設置場所	統合年度
本庄東小学校 藤田小学校 仁手小学校	3 校を統合し、 新たな小学校を設置	本庄東小学校	令和 1 3 年度

- ◆ 令和 1 3 年度は、**令和 8 年度に小学校へ入学する 1 年生が 6 年生になる年度**です。  
また、令和 6 年度に生まれたお子さんが小学校に入学する年度です。
- ◆ **統合後の小学校は、現在の本庄東小学校の施設を使用**します。令和 1 0 年度から本庄東小学校の校舎等の改修工事を始めます。
- ◆ 本庄市の学校の統合は、**学校の規模に関わらず、対等な関係**を基本としていますので、**新たな学校**として設置します。
- ◆ 藤田小学校及び仁手小学校の児童に対して、**通学用バスを用意**します。








# 1. 学校運営部会の役割について

## 統合準備委員会と専門部会の役割



## 2.スケジュールについて

### 学校運営部会スケジュール（案）

				令和8年度								令和9年度								令和10年度								令和11年度								令和12年度								
	1	2	3	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4				
学校名										 3月「教育委員会定例会」学校名決定																																		
										 6月「市議会」設置条例改正																																		
校章																																												
校歌																																												
記念行事																																												
その他																																												

## 3. 学校名について

### 3 小学校の学校名の変遷（各学校要覧より）

#### 本庄東小学校

明治6年 本庄小学校 → 明治20年 組合立本庄高等小学校 → 大正3年 本庄尋常高等小学校 →  
→ 昭和16年 本庄町立本庄小学校 → 昭和28年 本庄町立本庄東小学校 → 昭和29年 本庄市立本庄東小学校

#### 藤田小学校

明治7年 牧西学校 → 明治22年 藤田尋常小学校 → 明治29年 藤田尋常高等小学校 →  
→ 昭和16年 藤田国民学校 → 昭和22年 藤田村立藤田小学校 → 昭和29年 本庄市立藤田小学校

#### 仁手小学校

明治19年 仁里学校 → 明治41年 仁手尋常小学校 → 大正12年 仁手尋常高等小学校 →  
→ 昭和29年 本庄市立仁手小学校

## 3.学校名について

### 県内自治体の事例

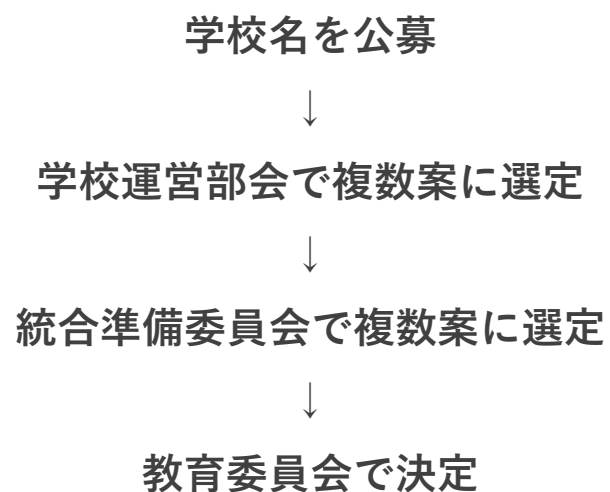
自治体名	新学校名	旧学校名	進学先 中学校	公募の 有無	募集範囲	選定方法
熊谷市	成田星宮小学校	成田小 星宮小	富士見中 熊谷東中	有	対象小学校区住民	専門部会で9案→統合準備委員会で 5案→市で決定
熊谷市	妻沼西小学校	男沼小 太田小 妻沼南小	妻沼西中	有	対象小学校区住民	専門部会で9案→統合準備委員会で4 案→市で決定
行田市	忍小学校	中央小 星宮小	忍中	有	市内外問わず	専門部会で2案→統合準備委員会で 1案に決定
羽生市	羽生東小学校	井泉小 三田ヶ谷小 村君小	東中	有	市内外問わず	専門部会で47案→児童アンケート→ 専門部会で12案→再編準備委員会で 2案→市で決定
嵐山町	武蔵嵐山小学校	菅谷小 七郷小 志賀小	武蔵嵐山中	有	市内外問わず	専門部会で6案→町民投票→統合準 備委員会で3案→市で決定
川島町	つばさ小学校	つばさ北小 つばさ南小	川島中	無	-	専門部会・統合協議会で協議→市で 決定

## 3.学校名について

学校名の選定方法について

**【協議事項】** 公募を行うか。公募を行わず、学校運営部会で考えていくか。

事務局案



- ◆ 小学校に通う児童や、これから新しい小学校に通う子どもたちの声を聞く機会が得られます。
- ◆ 校名を考えることで、新たな学校に対して親しみが生まれます。
- ◆ 公募によって多くの候補が挙がり、協議をする際の参考となります。